

Fact Sheet

2014年3月期



株式会社マーベラスAQL 市場: 東証第一部 証券コード: 7844 URL: <http://www.maql.co.jp/> お問い合わせ先: 経営企画室 TEL: 03-5769-7447

マーベラスAQLは、「『驚き』と『感動』を世界に届ける新しいエンターテインメントの創造」を経営理念に、オンラインゲーム、ゲームソフト、アミューズメント機器向けゲーム、音楽映像ソフト、ミュージカル公演等を展開している総合エンターテインメント企業です。

連結四半期財務情報要約

(単位: 百万円)

	第1四半期 (3か月)	第2四半期 (6か月)	第3四半期 (9か月)	第4四半期 (年累計)
売上高	4,410	9,585	14,666	20,330
営業利益	849	1,365	2,160	3,006
経常利益	876	1,385	2,231	3,041
当期純利益	531	860	1,392	1,882
一株当たり利益 (円)	9.94	16.10	26.05	35.21

営業成績

当社グループが属するエンターテインメント業界では、スマートフォンの急速な普及により、スマートフォンゲーム市場が急拡大いたしました。特に、AppStoreやGooglePlayといったアプリマーケットの成長には著しいものがありました。家庭用ゲーム市場におきましては、新型の据え置き型ゲーム機「PlayStation 4」が、先行発売された欧米に続き、国内でも非常に好調なスタートとなりました。アーケードゲーム市場につきましては、全体の市場規模が年々減少している中にありながらも、キッズ向けアーケードゲームに関しましては、続々と新作が発表されており、盛り上がりを見せております。音楽・映像市場におきましては、スマートフォンの浸透に伴う無料動画サイト等の充実から、ソフト市場は依然として厳しい環境下にあります。一方で、会場の雰囲気や一体感を楽しむことができるライブエンターテインメントの市場規模は、着実に拡大してきております。

このような状況下、当社グループは、多彩なエンターテインメントコンテンツをあらゆる事業領域において様々なデバイス向けに展開する「マルチコンテンツ・マルチユース・マルチデバイス」戦略を掲げ、総合エンターテインメント企業として、強力なIPを中核とするブランディング戦略・アライアンス戦略・グローバル戦略を積極的に推進し、話題性の高いコンテンツの提供とサービスの強化に取り組んでまいりました。

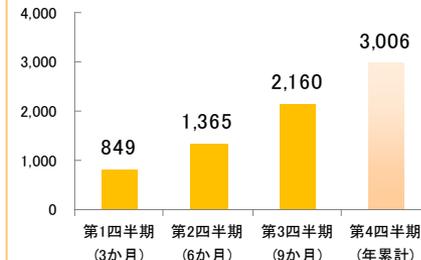
この結果、当期(2013年4月1日～2014年3月31日)の業績は、売上高20,330百万円(前期比15.6%増)、営業利益3,006百万円(前期比29.0%増)、経常利益3,041百万円(前期比30.8%増)、当期純利益1,882百万円(前期比1.9%減)となりました。

四半期業績グラフ (単位: 百万円)

売上高



営業利益



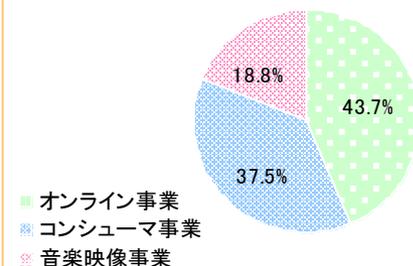
経常利益



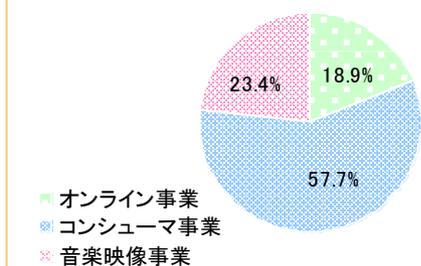
当期純利益



セグメント別売上高比率



セグメント別営業利益比率



財務情報要約
についてのご留意点

当社は、2013年10月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。一株当たり利益については、株式分割を考慮した数値となっております。

オンライン事業

代表的タイトル

剣と魔法のログレス いにしへの女神



©MarvelousAQL Inc. Aiming Inc.

ブラウザ三国志



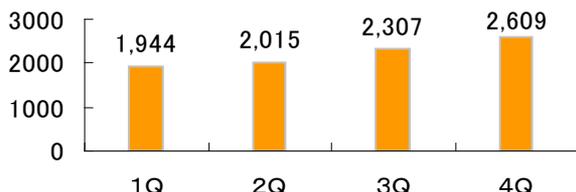
©MarvelousAQL Inc.

業績説明

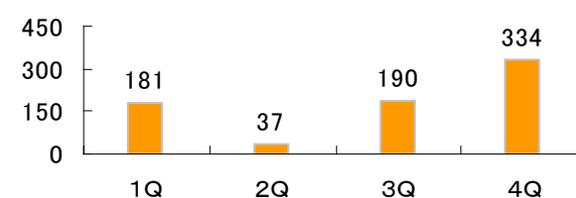
PCブラウザゲームにおきましては、既存の主力タイトルが健闘いたしました。リリースからの年月経過や、市場自体の縮小傾向に伴うかたちで、収益面では前期を下回る結果となりました。しかしながら、「ブラウザ三国志」につきましては、各種施策の効果から期末にかけて復調の兆しが見られており、引き続き運営面で注力してまいります。また、モバイルブラウザゲームにおきましては、「ハイスクールD×D」を2013年9月にリリースし、アプリゲームにつきましては、LINE向け初のタイトルとなる「LINE らんらん勇者」を2013年11月に、PCゲームでも根強い人気を誇る「剣と魔法のログレス」のネイティブアプリ版「剣と魔法のログレス いにしへの女神」を2013年12月にリリースいたしました。特に、「剣と魔法のログレス いにしへの女神」に関しましては、AppStoreやGooglePlayでの各種ランキングで上位にランクインする等、大ヒットを予感させる好調な立ち上がりとなりました。一方で、課金売上に繋がらなかった数タイトルに関しましては、サービス停止による開発費の一括償却を行っております。

この結果、売上高は8,877百万円(前期比22.1%増)、営業利益は742百万円(前期比11.6%増)となりました。

売上高(単位:百万円)



営業利益(単位:百万円)



コンシューマ事業

「牧場物語」シリーズ



©2014 MarvelousAQL Inc. All Rights Reserved. SUPER MARIO items © 2014 Nintendo.

ポケモンレッタ



©2014 Pokémon.

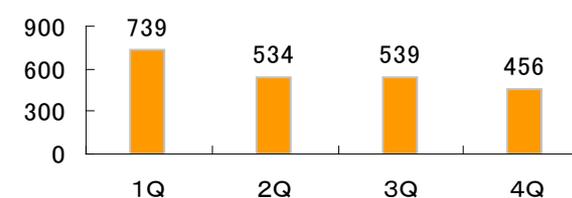
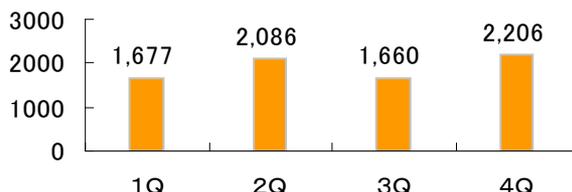
©1995-2014 Nintendo/Creatures Inc./GAME FREAK inc. Developed by T-ARTS and MAQL



当事業の自社販売部門におきましては、2013年5月発売の「ヴァルハラナイツ3(PS Vita)」が順調な販売となりました。また、前期発売の「閃乱カグラ SHINOVI VERSUS -少女達の証明-(PS Vita)」や「朧村正(PS Vita)」、その他の旧作リピート受注も好調に推移いたしました。さらに、2014年2月発売の「牧場物語 つながる新天地(ニンテンドー3DS)」は、前作を上回る受注ペースとなり、好調な販売を記録いたしました。その他にも、当社のオリジナルタイトルの新作として、「幕末Rock(PSP)」、「ヴァルハラナイツ3 GOLD(PS Vita)」を2014年2月に、「デカ盛り閃乱カグラ(PS Vita)」を2014年3月に発売いたしました。海外事業につきましても、米国子会社Marvelous USA, Inc.の販売が順調に推移いたしました。

アミューズメント部門につきましては、2012年7月に稼働を開始した、キッズアミューズメント筐体の「ポケモンレッタ」が好調を継続しており、当事業の収益に大きく貢献いたしました。

この結果、売上高は7,630百万円(前期比8.1%増)、営業利益は2,268百万円(前期比24.7%増)となりました。



音楽映像事業

「プリキュア」シリーズ



©ABC・東映アニメーション

ミュージカル『テニスの王子様』

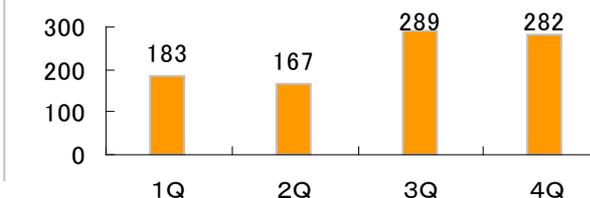
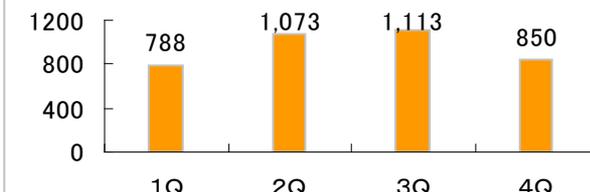


©許斐 剛/集英社・NAS・新テニスの王子様プロジェクト
©許斐 剛/集英社・テニミュ製作委員会

音楽映像制作部門におきましては、プリキュアシリーズのTVアニメ「ドキドキ!プリキュア」や当社主幹事作品のTVアニメ「やはり俺の青春ラブコメはまちがっている。」の映像商品化を行い、いずれも順調な推移となりました。また、当社グループ所属アーティストの「vistlip」に関しましては、シングル、アルバムのセールスが好調に推移いたしました。

ステージ制作部門におきましては、「ミュージカル『テニスの王子様』」において合計134公演分の実績を計上し、関連DVDを9作品発売いたしました。次に、「舞台『弱虫ペダル』」につきましては、観客動員数、関連DVDの売上がともに大きく飛躍し、当事業の主力シリーズに成長いたしました。また、「ミュージカル『薄桜鬼』」につきましても、順調に収益を伸ばしました。

この結果、売上高は3,825百万円(前期比17.5%増)、営業利益は921百万円(前期比24.7%増)となりました。



〔連結損益計算書〕

(単位:百万円)

		2010.3	2011.3	2012.3	2013.3	2014.3
売上高	IBMMV	8,284	6,965	10,423	17,579	20,330
	IBAQI	7,197	7,239			
売上総利益	IBMMV	677	1,740	4,491	8,116	9,946
	IBAQI	2,586	3,644			
営業利益	IBMMV	-1,668	202	1,044	2,329	3,006
	IBAQI	58	1,070			
経常利益	IBMMV	-1,725	147	1,025	2,325	3,041
	IBAQI	63	1,041			
当期純利益	IBMMV	-1,623	131	3,533	1,919	1,882
	IBAQI	58	537			

〔連結貸借対照表〕

(単位:百万円)

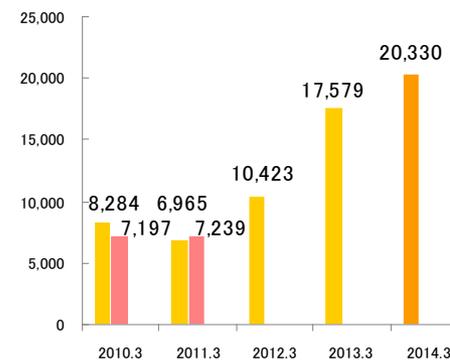
		2010.3	2011.3	2012.3	2013.3	2014.3
流動資産	IBMMV	3,889	3,271	11,932	12,593	14,583
	IBAQI	6,377	7,231			
固定資産	IBMMV	823	820	1,734	2,748	2,233
	IBAQI	1,403	1,003			
総資産	IBMMV	4,713	4,092	13,667	15,341	16,816
	IBAQI	7,780	8,235			
流動負債	IBMMV	4,447	3,496	4,361	4,570	4,840
	IBAQI	1,186	1,320			
固定負債	IBMMV	72	271	202	76	54
	IBAQI	169	35			
純資産	IBMMV	193	325	9,102	10,694	11,921
	IBAQI	6,424	6,878			
自己資本	IBMMV	193	325	9,102	10,694	11,921
	IBAQI	6,417	6,878			

〔キャッシュ・フロー計算書〕

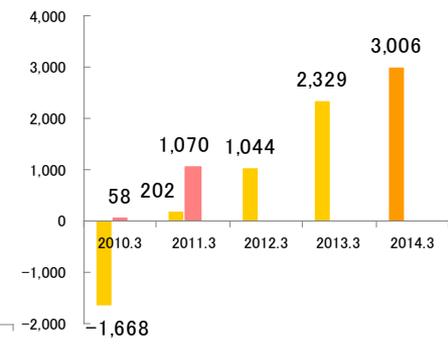
(単位:百万円)

		2010.3	2011.3	2012.3	2013.3	2014.3
営業活動による キャッシュ・フロー	IBMMV	-210	1,360	1,399	2,817	3,852
	IBAQI	-193	2,904			
投資活動による キャッシュ・フロー	IBMMV	-22	-246	435	-2,130	-634
	IBAQI	-598	-2,762			
財務活動による キャッシュ・フロー	IBMMV	5	-237	-479	-975	-873
	IBAQI	104	-216			
現金及び現金同等物	IBMMV	874	1,749	5,979	5,723	8,120
期末残高	IBAQI	2,483	2,401			

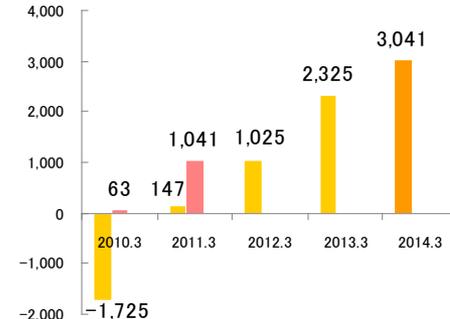
売上高(百万円)



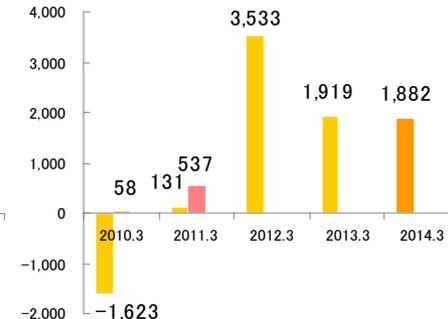
営業利益(百万円)



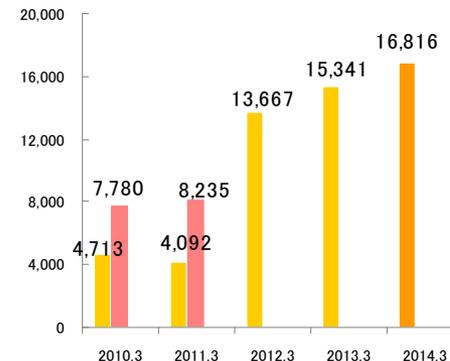
経常利益(百万円)



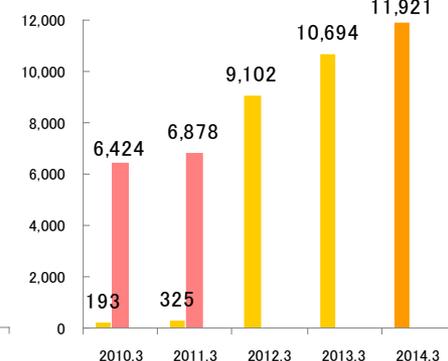
当期純利益(百万円)



総資産(百万円)



純資産(百万円)



〔一株当たり指標〕

		2010.3	2011.3	2012.3	2013.3	2014.3
一株当たり当期純利益 (円)	IBMMV	-136.18	10.76	107.62	35.90	35.21
	IBAQI	10.76	98.73			
一株当たり純資産 (円)	IBMMV	15.83	26.65	170.29	200.07	223.02
	IBAQI	1,180.61	1,261.95			

〔収益性〕

		2010.3	2011.3	2012.3	2013.3	2014.3
売上高総利益率 (%)	IBMMV	8.2	25.0	43.1	46.2	48.9
	IBAQI	35.9	50.3			
売上高営業利益率 (%)	IBMMV	-20.1	2.9	10.0	13.3	14.8
	IBAQI	0.8	14.8			
売上高経常利益率 (%)	IBMMV	-20.8	2.1	9.8	13.2	15.0
	IBAQI	0.9	14.4			
売上高純利益率 (%)	IBMMV	-19.6	1.9	33.9	10.9	9.3
	IBAQI	0.8	7.4			

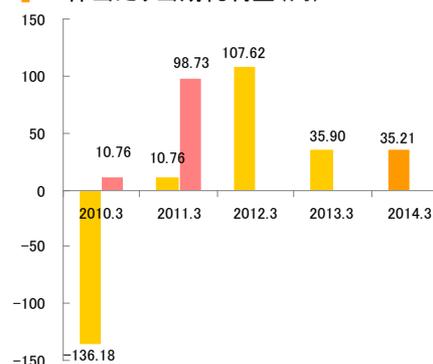
〔効率性・安全性〕

		2010.3	2011.3	2012.3	2013.3	2014.3
ROE (%)	IBMMV	-220.9	50.6	75.0	19.4	16.6
	IBAQI	0.9	8.1			
ROA (%)	IBMMV	-30.2	3.4	11.6	16.0	18.9
	IBAQI	0.8	13.0			
自己資本比率 (%)	IBMMV	4.1	7.9	66.6	69.7	70.9
	IBAQI	82.5	83.5			
D/Eレシオ (%)	IBMMV	1,099.6	559.7	15.2	7.9	5.5
	IBAQI	6.9	1.1			

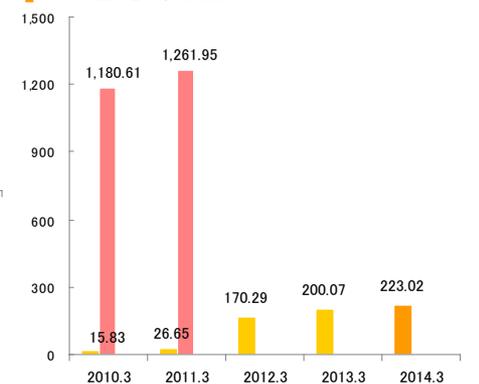
〔株主還元〕

		2010.3	2011.3	2012.3	2013.3	2014.3
配当額 (百万円)	IBMMV	0	0	323	668	694
	IBAQI	81	201			
DOE (%)	IBMMV	0.0	0.0	6.1	6.8	6.1
	IBAQI	1.3	2.9			
配当性向 (%)	IBMMV	0.0	0.0	5.6	34.8	36.9
	IBAQI	139.3	37.5			

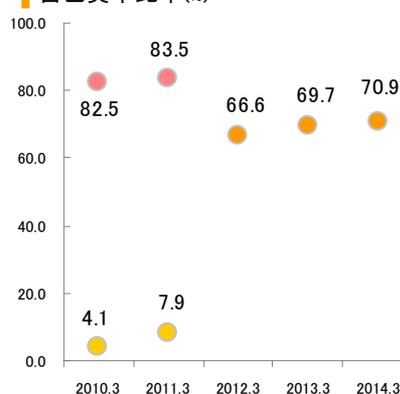
一株当たり当期純利益 (円)



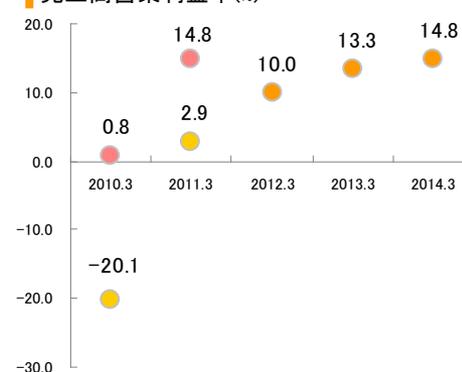
一株当たり純資産 (円)



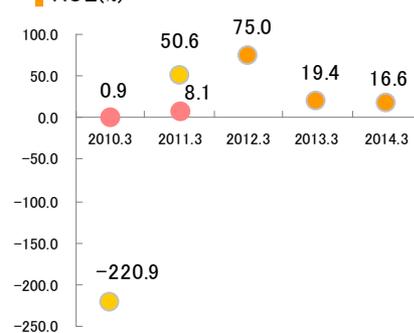
自己資本比率 (%)



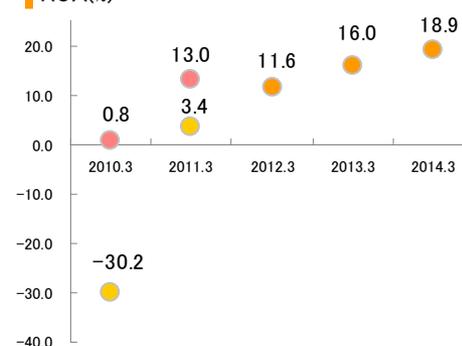
売上高営業利益率 (%)



ROE (%)



ROA (%)



一株当たり指標
についてのご留意点

当社は、2013年10月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。一株当たり指標については、株式分割を考慮した数値となっています。

今後の展開・今期の見通し

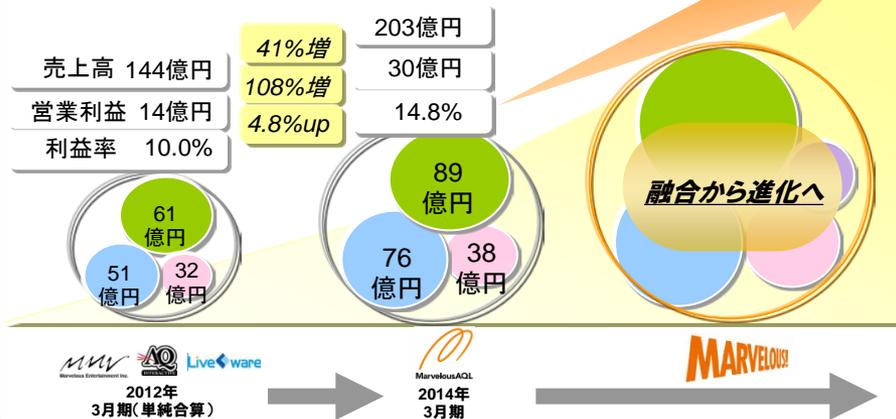
当社は、2014年4月1日、企業競争力の更なる向上を目指しCEO体制に移行いたしました。また、7月1日をもって社名を株式会社マーベラスAQLから株式会社マーベラスに変更いたします。

2012年の経営統合から今日に至るまで統合効果の早期創出にむけてさまざまな施策に取り組んだ結果、3社の統合は順調に進捗し、今後は新生マーベラスとして、全社一丸となって、更なる飛躍を目指してまいります。

2015年3月期の事業展開につきましては、2014年3月期に引き続きコンシューマ事業及び音楽映像事業を堅調維持させるとともに、オンライン事業におきましては、好調タイトルの運営強化と新たなアプリゲーム開発に最大注力する所存であります。

以上の取り組みにより、2015年3月期の連結業績につきましては、売上高25,000百万円、営業利益3,800百万円、経常利益3,790百万円、当期純利益2,274百万円を見込んでおります。

「強力なIPの創出・育成」と「総合エンターテインメント企業」の強みを活かし 融合から更なる付加価値創出へ大きく飛躍



基本情報

会社概要(2014年4月1日現在)

- ・商号:株式会社マーベラスAQL
- ・本社:東京都品川区東品川4丁目12番8号 品川シーサイドイーストタワー5階
- ・設立:1997年6月25日 ・資本金:11億2,847万円
- ・役員:

代表取締役会長 CEO	中山 晴喜	取締役(社外)	中村 俊一
代表取締役社長 執行役員 COO	許田 周一	取締役(社外)	久野良木 健
取締役副社長 執行役員 DeptCOO	青木 利則	常勤監査役(社外)	辻 勇
取締役 執行役員	松本 慶明	監査役(社外)	西 巖
取締役 執行役員 CFO	山角 信行	監査役(社外)	西村 勝彦
取締役 執行役員	山口 善輝		

事業内容

- オンライン事業** 多彩なプラットフォームに向け、オリジナルIPや他社有力IPを活用したゲームやアプリを開発
- コンシューマ事業** 家庭用ゲーム機向けゲームソフト、アミューズメント施設向けゲーム機の企画・開発・制作・販売
- 音楽映像事業** 音楽、映像等多様なコンテンツの企画・プロデュース・制作・販売、及び、舞台・ミュージカルの企画・制作・興行

株式情報(2014年3月31日現在)

- ・期末 :3月31日
- ・発行可能株式総数:90,000,000株
- ・株主数:9,743名
- ・単元株数 :100株
- ・発行済株式総数 :53,593,100株

〔主要株主/所有株式の割合〕

- ・中山 隼雄 18.32 %
- ・株式会社アミューズキャピタル 12.50 %
- ・中山 晴喜 10.22 %
- ・ドイツェバンク アーゲー ロンドン ピービー ノンリティー クライアント 613 3.68 %
- ・株式会社アミューズキャピタルインベストメント 3.43 %
- ・日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口) 2.68 %
- ・クレディ・スイス・セキュリティーズ(ヨーロッパ)リミテッド 2.59 %
- ・ピービー オムニバス クライアント アカウント
- ・日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) 2.33 %
- ・NOMURA PB NOMINEES LIMITED OMUNIBUS-MARGIN (CASH PB) 2.32 %
- ・ビーエヌワイエム エスエーエヌバイビーエヌワイエム クライアント アカウント エムピーシーエス ジャパン 1.68 %

〔株価〕(2014年5月9日現在)

- ・株価:695円
- ・時価総額:37,247百万円